

ひだか 議会だより

HIDAKA GIKAI DAYORI

第138号
平成22年5月31日

あやめ

組織が変わりました.....	2～3 P
臨時会.....	3 P
日高村45億円でスタート・行政報告.....	4～5 P
審議したこと・決まったこと.....	6～10 P
委員会活動.....	11～13 P
一般質問に4氏が立つ.....	14～17 P
議会日誌.....	18 P

このたび私どもが、同僚議員の推举を頂きまして、
日高村議長・副議長に



西川龍子副議長



横山泰昌議長

ご挨拶

第1回臨時会が4月20日に開催され、正副議長・各常任委員会委員等が選任、新しい議会組織となつた。

就任することになりました。
大変光栄に存じますとともに、その責任の重さを痛感しているところでござります。

現在政府による地域主権戦略大綱が協議されておりますが、決定されますと村への交付金につきましても今までとは違った形になるかと思われます。本年度4月から国による少子化対策である子ども手当・高校授業料実質無償化等が始まりますので、若い子育て中のお母さん方には朗報かもわかりませんが、国民の暮らしは依然として厳しい状況には変わりません。

日高村も税収の落ち込みによる厳しい状況の中、本年7月から行います工事で全村への光ケーブル網を構築し、通信サービスを行い役場から各家庭への情報発信、情報収集ができること

組織が変わりました

ることとなります。
また、産業廃棄物施設受け入れに伴う振興策も順次進めています。

このような時期に、議長・副議長をお引き受け致しましたことは、改めて身の引き締まる思いでございます。

今後公正・円滑な議会運営に努め、村民、議員各位の様々なご意見等を集約し、

日高村の発展と福祉の向上につなげてゆく決意ですので、今後とも、皆様のご指導、ご支援を賜りますようにお願い申し上げまして、ご挨拶と致します。

新しい委員会です

(○委員長○副委員長)

議長 横山泰昌
副議長 西川龍子

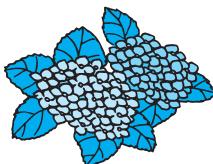
○森下雅文 ○壬生豊秀
西川龍子 横山泰昌
森下芳文



総務委員と議長



経済建設厚生委員と議長



国保運営協議会

野村重夫 西川龍子
森下芳文 矢野孝明

議会広報発行調査特別委員会

◎岡本光男 ○矢野孝明
戸梶昭澄 売生豊秀

経済建設常任委員会

◎尾崎政廣 ○矢野孝明
岡本光男 野村重夫
戸梶昭澄

議会運営委員会

◎森下芳文 ○壬生豊秀
岡本光男 森下雅文
西川龍子

公害対策特別委員会

◎森下芳文 ○戸梶昭澄
野村重夫 西川龍子
矢野孝明

農業委員（議会推薦）

日高村振興対策特別委員会
◎壬生豊秀 ○尾崎政廣
岡本光男 森下雅文
森下芳文

仁淀川中央清掃事務組合議会

尾崎政廣 森下雅文
野村重夫 森下芳文

仁淀川下流衛生事務組合議会

壬生豊秀 西川龍子
西川龍子

第1回 臨時会

「承認」

4月20日第1回臨時会が開催され、承認3件、議案1件が可決された。

人 事

◎監査委員に岡本光男氏を選任することに同意した。



岡本光男監査委員

◎専決処分の承認（平成21年度日高村一般会計補正予算（第9号））

例の一部を改正する条例
平成22年度に「子ども手当」「公立高校の授業料無償化」等に関連して税制改正が行われる。これに伴い個人住民税等を改正する。

賛成多数 可決



岡本光男監査委員

住所 日高村本村323番地
生年月日 昭和24年9月
任期 1日
から 平成22年4月20日
まで 26年4月18日

◎専決処分の承認（平成21年度日高村簡易水道特別会計補正予算（第6号））
一般会計より繰り入れ、簡易水道事業債の減額。

賛成多数 可決

スタート [一般会計] 可決 [特別会計]

単位：千円

商工費	農林水産業費	衛生費	民生費	総務費	一般会計	一般会計
2,126	87,207	2億09,833	7億99,888	6億45,214	52,883	平成21年度予算額29億39,991
5,608	67,868	2億27,710	8億89,354	5億64,837	52,305	平成22年度予算額29億09,908
商工会育成補助金	農業振興推進総合支援事業 有害鳥獣駆除補助金 緊急間伐総合支援事業 観光資源等	小型合併浄化槽設置費補助 生ごみ処理機購入補助 粗大ゴミ処理委託料等	乳幼児・児童医療費無料化 子ども手当 新型インフルエンザ対策 緊急通報設置	デマントバス運行委託料 国土調査事業 参議院議員選挙 日高村議會議員選挙等	議会だより印刷製本等	



戸梶村長

行政報告（要旨）

新聞報道での職員給与の不適切支給について

新聞報道では、「給与のランクを実際の職務より上位の格付けし、高い給与を支給する不適切な制度」とされてきたが、実態として

そのような事実はなく、規則にある給料表級別職務表に基づく「職務と責任に応じて」支給しており、地方公務員法、村の規則に抵触しないと考えているが、表記の仕方や取扱上に問題点があつたと考えられるので、是正を行いたい。

光ケーブル網等構築事業について

本年1月27日に交付決定があり、基本設計・実施設計施工管理の委託契約を、株式会社E.S.Sと2月23日に締結した。

今後の予定は、IP端末の選定、実施設計等（約3カ月）、工事の実施（約9カ月）を行い、平成23年4月の運用開始予定となつている。

国道33号日下交差点改良設計説明会開催

昨年12月17日地権者に説明が行われた。

県道の改良も同時にを行う必要があることなど、現状の判断から南側の拡幅工事

建築費については、21年度分を今議会の補正予算に計上している。能津小については、文部科学省から21年度予算であれば対応できるとの打診があつたことから今議会に補正予算を計上している。

日高中については、平成21年度補正予算で採択につたため、1月に設計業者をプロポーザル方式により決定し設計に取り組んでいる。

が望ましいと説明があり、今後境界の立ち会い、用地調査、補償交渉等が行われ、順調に行けば、平成23年末には工事に着手できる。

地権者の方々のご協力を得て、村民が安全に通行できることや、商店等の活性化が図られるよう、村としても協力したいと考えている。

日高村45億円で

会計別の予算額(単位:千円)	
特別会計	
国民健康保険	7億33,657
簡易水道	1億53,916
住宅新築資金等	15,717
老人保健	302
介護保険	6億75,165
後期高齢者医療	69,074
計	16億47,831

予備費	公債費	災害復旧費	教育費	消防費	土木費
2,000	5億01,510	334	3億03,042	1億41,676	2億26,816
2,000	4億34,117	383	2億66,659	1億52,865	2億46,201
			仁淀消防組合分担金 自主防災組織支援事業 国際交流員招致事業 図書購入費 総合運動公園遊具取替 村単独奨学資金制度事業等	消防ボランティア自動車購入 消防栓設置等	生活道資材補助 村道改良・維持管理 がけ崩れ住家防災対策事業 高架橋建設地検討資料委託等

平成21年度明許繰越明許費

光ケーブル網等構築事業
能津小耐震補強等整備事業
日高中学校建築事業等

昭和48年12月に創立された土地開発公社が、本年度末にはすべての手続きを終了し解散される。創立以来36年余りの永きにわたり、沖名及び清水工業団地、総合運動公園、治水事業等の大きな公共事業等の用地の取得にあたって功績を残されてきた。しかし、大きな投資的公共事業が当面ないことなどから、解散をするに至ったわけですが、理事各位のご尽力に心から敬意と感謝を表すものであり、今後、新たな事業ができる場合に、専門家の雇用、担当課等で対応していきたいと考えている。

土地開発公社解散

た土地開発公社が、本年度末にはすべての手続きを終了し解散される。創立以来36年余りの永きにわたり、沖名及び清水工業団地、総合運動公園、治水事業等の大きな公共事業等の用地の取得にあたって功績を残されてきた。しかし、大きな投資的公共事業が当面ないことなどから、解散をするに至ったわけですが、理事各位のご尽力に心から敬意と感謝を表すものであり、今後、新たな事業ができる場合に、専門家の雇用、担当課等で対応していきたいと考えている。



要望が待たれる街灯

日高中学校の生徒会より街灯の設置要望

1月18日生徒会会長、副会長が来られ設置についての要望をされた。

クラブ等で遅くなる冬場は、設置個所が少ないところは非常に危険であり、不安であるとの切実な訴えを聞かせていただき、街灯設

置については、集落内は自治会に補助金を出し、管理はお願いしている。集落と

集落をつなぐ道などについては、村で設置管理していること等をお話しし、村内調査の上、22年度予算に計上をし、議会に諮るという約束をした。

生徒が自ら行動を起こし実行してきたことなので、できるだけ要望には沿いたいと考えている。

審議したこと 決まったこと

H22.3.8~3.12

平成22年第1回定例会

3月議会では、人事案件1件、条例関係が8件、予算関係が11件、議員提出議案が2件、その他が3件、請願・陳情が2件の27件が決まった。

◎監査委員に矢野貞雄氏を選任することに同意した。

◎日高村退職手当審査会設置条例

◎職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

◎一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◎日高村監査委員条例の全部を改正する条例

◎日高村福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

条 例

住所	日高村下分804番地
生年月日	昭和25年2月15日
任期	平成22年4月1日から26年3月31日まで



矢野貞雄監査委員

◎監査委員に矢野貞雄氏を選任することに同意した。

人 事

を設置するよう新たに条例を制定するもの。

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

質疑

この条例は、公布の日から施行する。

翌日の午前5時までの勤務について、100分の175に引き上げるもの。

この条例は、公布の日から施行する。

◎日高村非常勤の特別職の職員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◎日高村議会の議員に対する期末手当の支給に関する条例

問 村で設置した場合等の委員は同じ人になるのではないか。（森下）

答 審査会の委員等については、非常に数が多くあります、一定ダブる部分もあり、得意な気もするが、事例などを勘案しながら、村内におられる方の中から適宜人選をしていく。

◎日高村監査委員条例の全部を改正する条例

今回の改正は、監査委員に関し、必要な事項を定める。

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

◎日高村退職手当審査会設置条例

時間外勤務が1ヶ月について、60時間を超えた職員には、当該時間外勤務手当の一部の支給に代わり、勤務代休を指定することができるもの。

◎日高村監査委員条例の全部を改正する条例

持ち家に係る住宅手当を廃止するとともに、時間外手当について、月60時間を超える時間外勤務に係る支給割合を100分の125から100分の150に、また午後10時から

◎職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

時間外勤務が1ヶ月について、60時間を超えた職員には、当該時間外勤務手当の一部の支給に代わり、勤務代休を指定することができるもの。

◎日高村監査委員条例の全部を改正する条例

乳幼児医療費助成の拡充を図り、助成期間を義務教育終了までとするもの。

この条例は、平成22年4月1日から施行する。



◎鴨地辺地、本村辺地及び名越屋辺地の総合整備計画の変更について（平成17年度～平成21年度計画分）
光ケーブル網等構築事業の実施に合わせて、辺地総合整備計画を変更するもの。

◎鴨地辺地、本村辺地及び名越屋辺地の総合整備計画の策定について
平成17年度から平成21年度までの5ヵ年計画が終了

この条例は、公布の日から施行する。

◎日高村共同作業場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

日高村下分第1共同作業

場の廃止、取り壊しによるもの。



中学生まで医療費無料

することから、新たに平成22年度から平成26年度までの5ヵ年計画を策定するも

の。

の緊急性を鑑み復旧費用を計上したもの。

◎平成21年度日高村一般会計補正予算（第8号）

歳入歳出それぞれ6億5千937万円を追加し、総額を51億2千85万円とする。

主な歳入

村民税△785万円、たばこ税△167万円、負担金△75万円、使用料△168万円、国庫負担金△507万円、国庫補助金3億8千160万円、県負担金△147万円、県補助金△507万円、財産収入△374万円、基金繰入金△1千407万円、延滞金加算金及び過料△170万円、村債△5千590万円など。

主な歳出

総務管理費2千950万円、選舉費△240万円、社会福祉費△246万円、児童福祉費△21万円、保健衛生費4千19万円、保健衛生総務費4千127万円、清掃費△250万円、農業費△1千225万円、農地費△408万円、林業費△215万円、道路橋梁費△1千212万円、交通安全施策費△258万円、住宅費△406万円、消防費△248万円、教育総務費△1千212万円、小学校費△1千785万円、中学校費△1千48万円など。

質疑

問 住宅費の瓦の葺き替え工事は、なぜ、明許縦越したのか。（野村）

答 瓦の葺き替え工事は、きめ細かな交付金という有利な補助金があり乗り換えた。

問 タバコ税が非常に減額になっている原因はどこにあるか。（岡本）

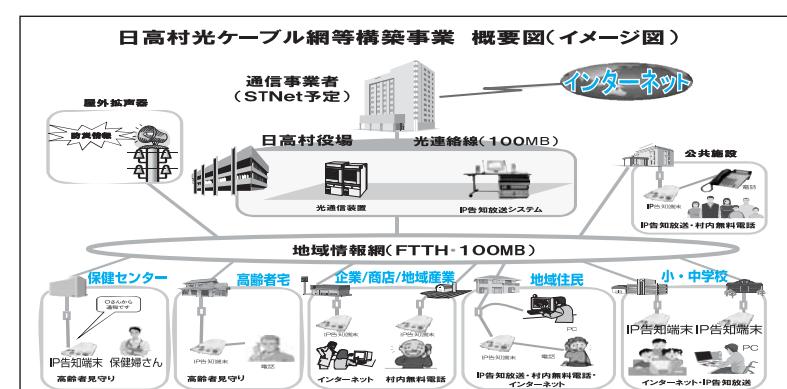
答 村の場合、人口による自然減とか、健康のために禁煙する方の増加、あるいは喫煙場所が最近限られている関係で落ち込んでいる。

問 緊急通報システム改修工事はどのような工事か。（横山）

答 1人暮らしの高齢者の緊急時に対応することで、安否確認等を実施しているが、平成13年度に整備した機器で基本的な部分が故障した場合メイカーエンジニアが部品がないので今回提案したものである。

答 市町村は、9月頃にな

るだろうということで、今進めている光ケーブルと接続することになろうと思うので、完成は22年度末になろうと考えている。



▶光ケーブル網等構築事業（イメージ図）

問　日高中の改築、よその市町村から日高村へ移り住んでこようと考えた時に、教育の環境は極めて重要な判断材料になると

思うが、その時に、現在の場所での移転、改築といふことが百年の計、後顧に憂いを残すことにはないか。

（森下）

答　PTA、教育関係者を含め、また、議員全員が入り教育行政審議会の中で、現有場所での改築という方向を出され、今のが場所という位置づけされたのは、非常に重いと思っている。

◎平成21年度日高村国民健康保険特別会計補正予算（第6号）

歳入歳出それぞれ489万円を追加し、総額を7億6千88万円とする。

主な歳入

国民健康保険税73万円、共同事業交付金599万円、前期高齢者交付金221万円、

財政調整基金繰入金△286万円、共同事業交付金△667万円、保険財政共同安定化事業交付金△842万円、延滞金及び過料80万円。

◎平成21年度日高村住宅新築資金等特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ357万円

主な歳入

國民健康保険税73万円、保

険財政共同安定化事業交付

金△286万円、財政調整基

金、延滞金及び過料80万円。

主な歳出

出産育児一時金△220万円、

高額医療共同事業拠出金△42万円、保険財政共同安定化事業△255万円、予備費998

とする。
主な歳入

国補助金貸付助成金△

万円、貸付金元利収入△

万円など。

主な歳出

貸付事業費210万円、予備

費△147万円など。

主な歳入

歳入歳出それぞれ904万円

を追加し、総額を2億4千792

万円とする。

主な歳入

繰入金4千127万円、村債

△2千900万円。

主な歳出

総務管理費582万円、施設

費1千154万円など。

主な歳入

繰入金4千127万円、村債

△2千900万円。

主な歳出

総務管理費582万円、施設

費1千154万円など。

主な歳入

総務管理費582万円、施設

費1千154万円など。

れる方が対象か。（西川）

答　毎年、日常的に活動している地域活性化の団体

が申請し、補助金審査会

を経て決定するもので、

そのような方々を応援したい補助金である。

（森下）

問　農林水産業費の補助金で、直接支払いは今年からやまつたのか。（正岡）

答　1カ所は地元から取りやめる連絡があつたし、もう1カ所は対象外となつた。

問　観光推進事業の負担金は。（正岡）

答　日高村、いの町、土佐市との3市町村の観光組織づくり、県内外で行われている農産物や観光物産展への出展等を図りたいと計画している。

問　シルバー人材センターの負担金について、今、日高村で仕事がない、その日の生活に困る人が相当できているが、一番仕事のない時に、こういった事業は独自にやるべきでは。（西森）

答　村としては、民間とすり合わせを十分今後検討し、重複して圧迫しない形の委託を含めて運営を

してもらいたいと思つて

いる。

問　日下保育園能津分園補助金について、現在延長保育はやっていないが、保護者に聞いたら希望も

あるがどうか。（森下）

答　予算計上の時は、延長保育の話がなかつた。

問　能津分園の、延長の考えは。（岡本）

答　需要があれば、日下保育園と同じように実施をしたい。

問　少子化の中、保育園に子どもが少ないということ

とで、保育園の運営自体が危ぶまれる。村内の保育園が運営できる体制づくりも重要ではないかと

思うが、極力村内の保育園に入つてもらう対策は。

問　高糖度トマト産地確立事業はどのような事業か。（野村）

答　関東地方を中心とした消費者団体との交流調査、販売促進、市場流通を対象とした新たな戦略会議

の計画、販売イベントの企画開催、パッケージを新規デザインに変えた新たなトマトの販売等をしていきたい。

また、生産者の女性部を中心に、トマトの新規加工品ができいか調査を行いたい。

問 地域と学校のコラボレーション（連携）、また、学力総合ステップアップ事業はどのような事業か。
 答 教育委員会が力を入れて、地域の方々の先進地の教育力を高めている取り組みの視察といった研修旅費。

◎平成22年度日高村国民健康保険特別会計予算
 主な歳出
 共同安定化事業6千717万円、特定健診等事業費806万円、保健事業費112万円、償還金及び還付加算金260万円、予備費250万円など。

◎平成22年度日高村介護保険特別会計予算
 主な歳出
 住宅新築事業等貸付事業費153万円、公債費831万円、予備費587万円など。

◎平成22年度日高村老人保健特別会計予算
 主な歳出
 総務管理費10万円、医療主な歳出
 総務管理費10万円、介護予防事業費2千257万円、居宅支援事業所事業費290万円など。

◎鴨地辺地、本村辺地及び名越屋辺地の総合整備計画の変更について
 光ケーブル網等構築事業の実施に合わせて、辺地総合整備計画を変更する。

◎鴨地辺地、本村辺地及び名越屋辺地の総合整備計画の策定について
 平成17年度から平成21年度までの5カ年計画が終了することから、新たに平成22年度から平成26年度までの5カ年計画を策定する。

問 工事はどこをする予定か。
 答 井峯地区の老朽管を敷設

問 生活習慣予防支援事業はどのような事業か。
 答 特定健診の未受診者に対する分析をする事業。
 ◎平成22年度日高村簡易水道特別会計予算
 主な歳出
 一般管理費3千732万円、基金費629万円、施設費722万円、公債費6千990万円、水道施設新設費2千767万円、予備費550万円など。



水道敷設替え工事

◎平成22年度日高村後期高齢者医療特別会計予算
 主な歳出
 総務管理費52万円、徴収費30万円、後期高齢者医療費予備費10万円など。

◎平成22年度日高村後期高齢者医療特別会計予算
 主な歳出
 総務管理費52万円、徴収費30万円、後期高齢者医療費予備費10万円など。

◎平成22年度日高村後期高齢者医療特別会計予算
 主な歳出
 総務管理費52万円、徴収費30万円、後期高齢者医療費予備費10万円など。

その他の



ふたたび議論の始まった郵便局



存続が求められる出先機関



○安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情書

提出者＝国土交通省管理職
ユニオン四国支部
執行委員長 有澤尚可

全員賛成 採択

議員提出席案

平成22年度3月議会

◎郵政民営化の抜本的見直しに関する意見書

山間、離島を含め、あまねく公平にサービスを提供すること。

内容
一、郵便事業、郵便貯金、簡保生命の三事業を一体経営とし、効率的事業運営とすること。

二、郵便貯金、簡保生命の金融についてもユニバーサルサービスを義務づけること。

三、全国2万4千600の郵便局ネットワークを維持し、

四、日本郵政、ゆうちょ銀行、かんぽ生命の「株式の処分の停止等に関する法律」を維持し、近い将来に政府が責任を持つ特殊会社か、公社形態をめぐすこと。

提出議員＝横山泰昌
尾崎、正岡、岡本
全員賛成 可決

◎安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活・環境保全、予算の拡充・国土交通省の地方出先機関の存続を求める意見書

内容

一、「地方分権」については、拙速に結論を出すことを避け、国民生活に対する法律」を維持し、近い将来に政府が責任を持つ特殊会社か、公社形態をめぐること。

二、防災、生活・環境保全、維持関連公共事業予算の確保・拡充をはかること。

三、現在直轄で整備・管理している道路・河川行政は国の責任を明確にし、安易な地方整備局・事務所・出張所の廃止や地方移譲は行わないこと。

提出議員＝森下芳文
西川、壬生、西森、野村
全員賛成 可決

こと。

二、防災、生活・環境保全、維持関連公共事業予算の確保・拡充をはかること。

三、現在直轄で整備・管理している道路・河川行政は国の責任を明確にし、安易な地方整備局・事務所・出張所の廃止や地方移譲は行わないこと。

○郵政民営化の抜本的見直しに関する意見書提出に関する陳情
提出者＝みんなのための郵便局を守る高知の会
世話人 代表 筒井潤
全員賛成 採択

決まつたこと
陳情・請願

（11）平成22年5月31日

日高村議会だより

総務常任委員会

委員長 尾崎政廣

定がされて2週間以内に異議申し立てをすることができる。

この決定については、1月8日に予定している。1月31日現在、なんらされてない場合については、新年度予算で、万が一の場合には強制執行、最後の手段があるという説明を受けている。

畜産団地明け渡し裁判の経過の報告を受けた。

村の調停案では明け渡し期日を1月末ということにしてはいたが、相手であるM氏のほうから、3月末にしてほしいとの要望があつた。裁判長は判決したら即座に出て行つてもらわなければいけないので、3月末で和解することが、村、相手方M氏・F氏にとつても利点があると思うので、なんとか和解してもらいたいという話であったが、この決

2月25日執行部より

畜産団地明け渡し裁判の経過の報告を受けた。

村の調停案では明け渡し期日を1月末ということにしてはいたが、相手であるM氏のほうから、3月末にしてほしいとの要望があつた。裁判長は判決したら即座に出て行つてもらわなければいけないので、3月末で和解することが、村、相手方M氏・F氏にとつても利点があると思うので、なんとか和解してもらいたいと

いう話であったが、この決

定がされて2週間以内に異議申し立てをすることができる。

この決定については、1月8日に予定している。1月31日現在、なんらされてない場合については、新年度予算で、万が一の場合には強制執行、最後の手段があるという説明を受けている。

畜産団地明け渡し裁判の経過の報告を受けた。

村の調停案では明け渡し期日を1月末ということにしてはいたが、相手であるM氏のほうから、3月末にしてほしいとの要望があつた。裁判長は判決したら即座に出て行つてもらわなければいけないので、3月末で和解することが、村、相手方M氏・F氏にとつても利点があると思うので、なんとか和解してもらいたいと

いう話であったが、この決

総務課より

村有地財産の2件の払い下げについての説明、2件とも沖名地区である。

委員から、異議はないといふことで払い下げを認められた。

光ケーブルの件では1月27日に交付決定がきた。

また、デマンドバスの実証運行が2月22日に開始した。

村議会議員選挙の候補者説明会を3月17日に開く。

今議会の提案事項は、一般会計補正の専決処分1件、補正関係5件、当初予算7件、条例改正等が9件と説明を受けた。



運行されているデマンドバス

2月23日

健康福祉課より、12月16日平和の集いを開催し、参加者は135人、戦没者の方々の追悼と、小学生4人による平和への熱い思いなどを文において発表いただいた。

1月20日地域密着型運営協議会を開催し、認知証のデイの必要性が協議され、グループホーム併設型の通所デイの公募を村内事業所に依頼することを決定され、この3月募集をする予定としている。定員は1日3人ぐらい。

2月5日国保運営協議会を開催し、21年度事業報告及び22年度の事業説明を行

教育委員会より

日高中学校建築工事関係の経過を報告、2回目のヒアリングを行った時には、8人のヒアリングによる企画力、組織力、実力等について審査をした結果、山本設計が契約交渉相手に決定し、2月15日契約を締結した。

住民課より

住民課のほうは、補正予算と当初予算ということでお資料で説明された。

健康福祉課長より

健康福祉課は条例2件、条例改正2件との説明を受けた。

経済建設厚生常任委員会



委員長 西森 和

い、今後の医療費の削減及び保険料の維持について健診率、徴収率の更なる努力が必要であると説明があつた。

2月15日、次世代育成支援地域対策協議会を開催した。21年度の事業報告、及び22年度の事業説明を行い、委員から能津地区の保育行政の充実について慎重な意見が出された。

次に、新型インフルエンザについて、現在の状況報告をし、予防接種の補助対象は国の制度において、2月1日より健康な成人の方まで拡大され、このことに伴い、村では全村民の申請希望者を対象に費用の一部助成を実施することにしている。課税対象の個人負担は1千円、非課税所帯については無料と、2月9日現在減額申請が1千143人、12月までに接種を行つた。

590人が、この件について日本製なのか外国製なのかという意見が委員から出たが、これは国産とのこと。

次に産業環境課から、2月22日、1月19日、2月23日に商工会活性検討委員会

を開催した。ワークショッピングで日高村を良くするために高知大的鈴木教授の下で指導を受け、3月末までには結論を出す。

1月20日には観光検討委員会、小村神社、能津の錦山公園、仁淀川という形で観光運動ができるいか、JR四国のアドバイスを受け、今後検討していく。

1月22日に地産地消の関係で、課が窓口となり農家とレストラン高知とイチゴの関係で話し合いをし、その結果2月から農家のイチゴがガチヨウの家に、週に80箱から100箱ぐらい納入開始になり、日高的イチゴをPRしていくことの取り組みをしている。

2月8日に沖名、加茂地域の、空き家調査の説明をした。3月末までに調査を終わる予定。

経費については高知県地域づくり支援課の方で全部負担。



か、高知県と話しながら始めている。

次に建設課から、大橋交差点の件だが、用地の範囲を示す幅杭などの設置については、地権者全員のご理解をいただき、2月18日、19日に幅杭の設置が完了した。今後は3月17日に国交省と村の職員に地権者宅を回って、買収範囲内について説明をする。これが終われば補償対象物件の家などと調査に入り、国交省のやる補償の説明と交渉、および契約・支払い・立ち退きと、順調に行けば23年度末には工事に着手できると、土佐国道事務所より説明を受けた。それに引き続き、谷地日下駅前停車場線、県道ですが、これの歩道計画も国の計画が決まり次第調査に入るということである。



地産地消のイチゴ

日高村振興対策特別委員会



委員長 岡本光男

12月16日 県よりエコサイクルセンターの現在の工事進捗率について報告があり、貯留構造物の壁を、今施工中であり、残り3ヶ月でほぼ完成に近いと報告があった。

22年度には、屋根工事の準備をしながら関連施設、医療管理棟など順次発注をし、また取り付け道路の仕上げも22年に向け発注する。委員からは溶融炉を入れたりサイクル施設として稼働させるのが一番望ましい方向だと思うがとの質問に、エコサイクルセンターから今は最終処分場のみといふ方向付けをいただけている。

陽光発電を作るところまで踏み込まないと削減は難しいので世界の動向が定まれば、状況を見ながら色々考えていかなければならぬ。

エコサイクルセンターの誘致は、地元の下請け、砂利、骨材、燃料、雑貨などがある程度見込めるということで誘致したがほとんど利用されていないとの意見に、県からは発注の際、地元の皆さんとの技術を借りる場を作り出していくことをもつて、理解を賜りたいと思つてている。

県道庄田伊野線の名越屋沈下橋から下流の1.5車線化の整備について、どのように整備するのか青写真を書いてもらいたいと言つてたがどういう状況になつているか。

高架橋など新しく橋を架ける事業が採択される見通

ので精一杯安全な施設として仕上げる努力をしている。

太陽光発電装置を付けられることができるので、発想の転換も必要ではないかとの質問に、県から国は二酸化炭素25%削減という大きな方向を出しているので、太

陽光発電を作ることまで踏み込まないと削減は難しいので世界の動向が定まれば、状況を見ながら色々考えていかなければならぬ。

政権が変わった関係で情報もまったく入つてこない。

高架橋などについては、政権が変わった関係で情報もまったく入つてこない。

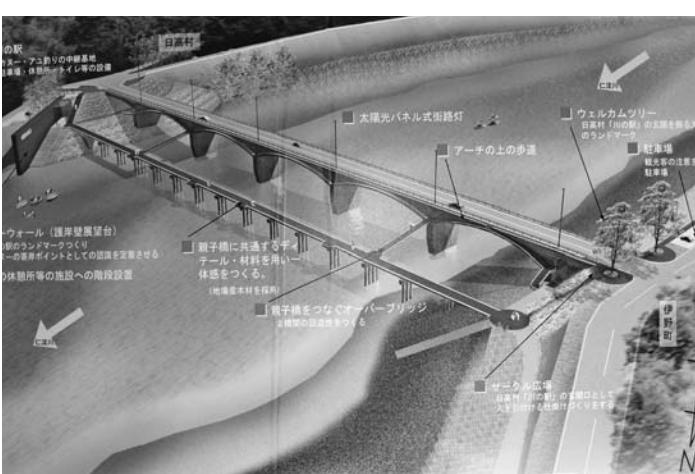
3月25日

能津小学校耐震補強等整備事業について、国の予算縮減のため平成22年度工事採択が難しい状況であつたところ、国への要望の結果急きよ平成21年度予算で対応してくれることとなり、村の3月補正予算に事業費1億671万2千円を計上した。

県の振興対策交付金分や村単独事業分はふるさとづくり基金等を取り崩して対応し、県の交付金は22年度予算で補助されるとの報告があつた。

委員より、柱谷南線の工事費が増えたのは事前調査不足ではないか。

「建設課より橋台の掘削残土が泥状で流用できないことが掘つてみてわかつた」ボーリング調査は行つてない。



待たれる高架橋

次に、村道柱谷南線道路改良工事について、昨年11月に工事費3千835万円で落札し、工期が今年3月29日までであったが、工事現場が乗用車に不法占拠されており、着工が遅れたため、工期内完成が不可能となり、また工事設計変更により事

業費も4千253万円に増額となつた。21年度分1千535万円、22年度分は2千718万円となり、3月予算計上で対応する旨報告された。

平成23年度から計画されている仁淀川の高架橋について、平成22年度に場所の決定や河川協議を行うために、コンサル業者の委託費を当初予算に計上した。

委員より、柱谷南線の工事費が増えたのは事前調査不足ではないか。

「建設課より橋台の掘削残土が泥状で流用できないことが掘つてみてわかつた」ボーリング調査は行つてない。

高架橋の委託費は県の振興策の対象となるか、執行部からは、県に22年度前倒しでやることを報告しており、毎年県より交付される6千万円の内310万円で対応する。

沈下橋から下流の改良を、10年間の振興策の中で計画を立てて行うよう、早急に村と県が話し合いをするべきとの意見が出され、県職員の異動もあるので、委員会として3月中には県と話し合いをしておくよう執行部に申し入れた。

雇用対策をいそげ



野村重夫議員

一般質問に4氏が立つ

質問 緊急雇用創出臨時特

例事業、22年度の当初4件（70万4千円）・国の

内容の説明を求める。

答弁 戸梶村長

地籍管理システムの圃場整備土地データ及び航空写

真の組み込みを行い、地籍データの有効活用等、行政事務の効率化・高度化及び住民サービスの向上を図るために、1人雇用。光ケーブル等の煩雑な事業が総務課に集中しているので、総務課全般の業務として臨時雇用が1人。

学校調理員を今年度2人プラスしている中の1人が緊急雇用の事業だ。健康福祉課の介護事業の業務補助としての臨時職員が2人だ。緊急雇用創出の事業としては8人で、720万4千500円になる。

重点分野の雇用創造事業だが、産業環境課のほうに観光資源活用推進事業として、村内のイベント観光地

等を整理し、各協議等主催する事業等連携できるところは連携する。また村内外へPRしていくという事業的な活動を目指して観光パンフレット等作成し、村を売り出していくという事業に臨時職員1人の雇用。これが345万7千円。5つの事業が臨時特例交付金を使った緊急雇用の事業だ。

答弁 戸梶村長

質問 23年までに4千924万5千円の事業の予定で雇用人数が74人ということ

だが、その事業の内容は。

事業内容は、錦山公園の枯れ松等の撤去・間伐等、下分地区安全・安心事業（道路の状況調査及び危険個所の木の伐採・撤去事業）本郷・沖名地区の安心・安全事業（下分地区と同じ）能津地区の安心・安全事業（同じ）能津地区的河川安全・安心事業（村管理河川事業の立木等の伐採・除去作業）日下地区の河川安心・安全事業（能津と同じ）錦山公園の整備事業として、公園内の安全を確保、景観保全を行うための転落防止柵の

修繕、車道等の草刈り作業。

日高村商工や直販所の活性化事業で、村内の事業者さんさん市の活性化のための、事業所や直販集荷者の大学等と連携をとり調査アンケートを実施する。

公有財産の情報整理事業、

日高村のホームページ作成委託事業など10件だ。

その他の質問事項

○子どもの医療費中学校まで無料化について

○22年度予算（日高村）の重点施策は

○村の職員定数について



緊急雇用で伐採された道路

少子化対策で人口増を!



西川龍子議員

質問 現在、少子・高齢社会、人口減少社会となつてゐる。税収減の中、年金等、社会保障制度全般に危機感を持つてゐる。そこで、人口増へと転じていく方策として、約2年前より、医療費の無料化を中卒までと訴え、アンケートも実施し、やつと4月より中卒まで、医療費無料化への予算が付いたが、手続きは。

質問 少子化対策の一環として、幼少期に、ヒブワクチンと肺炎球菌ワクチンを、中学1年～3年生の女子に子宮頸がんワクチンを、費用は病院により異なるが、確認した範囲ではすべ

答弁 川村健康福祉課長

村の単独事業であり、保険証の確認の目的も含め、小学校入学前に申請手続きを行い、小学6年の年度末までの有効期限の受給者証を交付する。

中学校入学前には、自動的に更新し、中学3年生の年度末までの有効期限の受給者証を交付したい。

申請手続きについては、役場での手続きを、お願い

保険証の確認が必要であり、接種費用は、病院により異なるが、日高クリニックでは、一回7千350円で計4回の接種が必要、小児肺炎球菌ワクチンは、2月24日より販売開始。

仕事の都合により、4月1日までに、申請手続きができるない児童が、4月1日以降に、医療機関で治療を受けた場合は、後日、領収書の提出により、適応分の自己負担額を償還払いの方法で対応していく。

チンの予防接種に助成制度を付けて、実施できれば、元気に生まれたお子さんを守ることができると考えているが。

答弁 川村健康福祉課長

小児の細菌性髄膜炎ヒブ菌に感染する患者は国内で年間約千人で約50人が死亡、25%の方に視聴覚障害や発達遅延等の後遺症が残る。

接種費用は、厚労省は水ぼうそう、ヒブ、肺炎球菌の全額公費負担の定額接種にする検討を始めしており、国の副作用被害救済制度の対象になる等の報道もあり、今後の国の動向を見守りたい。

子宮頸がんワクチンは昨年10月に認可され、12月22日より、ワクチン接種が始まっている。

費用は病院により異なるが、確認した範囲ではすべ

て、1万5千円で3回の接種が必要となる。

この3ワクチン共に、最新の予防ワクチンであり、県内の状況等、見定めたい。

質問 子ども手当が2010年から1人1万3千円を中学卒業まで支給される。中学生からは申請が必要とあつたが、計画は。



予防接種が受けられるクリニック

答弁 川村健康福祉課長

現行の児童手当を受給している児童は手続きは必要ない。日高村の対象中学生は177人と少なく、4月以降に順次、対象者に申請書等を送付し第1回目の6月には、対象者全員に支給したい。

渡りをなぜ温存



森下芳文議員

質問 渡りについて表記の仕方や、取り扱いについて問題があつたと行政報告しているが具体的に説明を。

答弁 戸梶村長

4級、幹（みきかん）主幹を自動的に行かしていると受け取られ、渡りの温存と報道された。報告内容が適正でなかつた。4級については、係長相当職の主任という表記に改める。

質問 職務職階制の厳格な運用をせよ。曖昧にするからこのようなことが起ころ。職員の家族からも不安の声も聞かれるし、村民からは職員だけ厚遇しているように受け取られる。

答弁 戸梶村長

村民の方々に非常に嫌な思いをさせたことで、お詫びを申し上げる。

国、県の工事は事前説明と事後対応に矛盾なく

質問 国道三三号線の改良について、用地調査、補償交渉、地権者の協力を得て村も協力すると述べているが、事前説明と事後対応が異なると、公共工事への協力が得られにくくなるが、安心して対応できる具体策は。

答弁 戸梶村長

村民の不安感を解消するよう協力する。

質問 村民からの相談にはきちんと責任ある対応を求める。

答弁 戸梶村長

全面的に協力もしながら、不安感の解消も含めて、村民の協力を得る努力をする。

点字ブロックが機能していない

質問 点字ブロックが設置されているが、機能していない。この問題は以前

関係者に指摘したことがあるが改善されてないのを取り上げる。議会における質問通告の効果を目の当たりにした。視力障害者施設「くすのき荘」

を村内に持っている村として、視力障害者に対する理解があつてしかるべきと思う。言われるまでできなかつたのは鈍感と言わても仕方ない。

担当課長並びに村長の考えは。

答弁 川村健康福祉課長

点字ブロックは目的を持つて設置されており、機能していない状況にあることは、非常に残念なことだ。

答弁 戸梶村長

言われるまで気が付かなかつたということは、非常に申し訳ない話で、肝に銘じながら、点検もしながらやつていく。

地盤対策は万全を

質問 大橋地区、木屋ヶ谷地区、長畠地区で地盤の狂いが生じているが原因と対策は。

答弁 杉本建設課長

地盤変動の要因として、報告書によると、地殻変動、乾燥収縮、地下水位の低下による圧密加速が考えられ、これは帶水層の地下水位の変化により、それと接する粘土層の間隔水が変化するため地盤変化を引き起こす。

長畠地区も現地に行つてきた。調査もして、県道などで県の担当と現地に行く。



改善された点字ブロック

農業指導員の設置を



正岡 明議員

今年度予算は

質問　一般会計では前年度休、休耕田、棚田の活用を考えると今後団塊の世代が農業に関わる時、身近な部分で指導とかつなげる方がいれば進むと思うが、産業振興計画を含め新たな村の特性を活かした特產品づくりの研究もしていきたい。

を信頼される職員像

答弁 片岡総務課長

これまで予備費まで足した（全体の）構成比で

あり、人件費、物件費、扶助費とかの中にも臨時的なもの、経常的なものも含まれており単純に足すとパーセンテージが超えることになる。

質問　議会の説明の数字の記載方法を考えるべきではないか。

答弁 谷本副村長

質問　集中改革プランの職員像について、今よりも少なくとも仕事ができれば十分対応できると思う。

答弁 戸梶村長

うが、村の発展、村民のための行政姿勢の決意は。

職員の能力的なものもあるが職員として住民に対する考え方、村に対する考え方があつた事やと思っている。

少ない人数で協力し、一致団結して日高村を盛り立て活性化していく意気込みを作るのが私の仕事と思っている。

質問　日高の農業活性化は急にはできないと思うが、村として農業全般の品目、指導販売できる専門知識を持つた人を育て、農家の収入の手助け、アドバイスのできる指導員の設置により農業の底上げ、活性化につながり、見直しされた農政の基本法にも乗つていけると思うが。

答弁 戸梶村長

農協、普及所頼みで良いのかという問題は、色んな研究をされ残つていいのがトマト、茶と思う。さんさんの活用、遊

質問　一般会計では前年度対比は4.3%減のことだが、義務的経費は21年45.2%今年は46.5%と1.3%高くなっています。物件費や補助費を含む経常経費は75.8%から78.3%と2.5%増えている。

議会に示した金額を足すと78%を超えるのに実際は71.8%ぐらいになるとと言うが、議会説明での説明書の数字は。

質問　集中改革プランの職員像について、今よりも少なくとも仕事ができれば十分対応できると思う。

答弁 村の将来を担う村民から信頼される手本、そのことが村民のためであり村政信頼の基になると思



活用が待たれる休耕田

議
会
日
誌

25 24	23	22	19 15	7	2	14 10	8	1	3	26	24
総務常任委員会	例月出納検査	仁淀川下流衛生事務組合議会	農業委員会	初午	2 /	農業委員会	議会広報発行調査	特別委員会	振興対策特別委員会	定期監査	中学校建設推進委員会
経済建設厚生常任委員会	仁淀川広域市町村圏事務組合議会	高知中央西部焼却事務組合議会	次世代協議会	農業委員会	5	議会広報発行調査	特別委員会	農業委員会	次世代協議会	会員会	定期監査
総務常任委員会	例月出納検査	県町村議長会	農業委員会	5 27 25	7 /	國保運営協議会研修会	特別委員会	農業委員会	農業委員会	会員会	振興対策特別委員会
例月出納検査	次世代協議会	議長	國保運営協議会	18	14	議会広報発行調査	國保運営協議会研修会	第1回定例会	次世代協議会	定期監査	中学校建設推進委員会
農業委員会	県町村議長会	農業委員会	定期監査	19	20	17	14	13 12	8 /	3 /	定期監査
農業委員会	議長	農業委員会	例月出納検査	21	23	20	17	13	1	1	定期監査
農業委員会	議長	農業委員会	定期監査	22	25	24	20	25	26	26	定期監査
農業委員会	議長	農業委員会	定期監査	23	26	29	30	27	27	27	定期監査
農業委員会	議長	農業委員会	定期監査	24	24	29	31	26	26	26	定期監査
農業委員会	議長	農業委員会	定期監査	25	25	29	30	27	27	27	定期監査
農業委員会	議長	農業委員会	定期監査	26	26	29	30	27	27	27	定期監査
農業委員会	議長	農業委員会	定期監査	27	27	29	30	28	28	28	定期監査
農業委員会	議長	農業委員会	定期監査	28	28	29	30	28	28	28	定期監査
農業委員会	議長	農業委員会	定期監査	29	29	30	31	29	29	29	定期監査
農業委員会	議長	農業委員会	定期監査	30	30	29	28	29	29	29	定期監査
農業委員会	議長	農業委員会	定期監査	31	31	30	29	28	28	28	定期監査

編集後記

薰風のさわやかな季節となりました。水田にも美しい苗が並び、初夏へと装いを新たにしています。私たち、議会広報特別委員会も4月20日組織議会により、新たな5人のメンバーで、今後の2年間を担当することとなりました。私たちの議会活動を公平かつ分かりやすく、親しくで読んでいただける議会だ

梅雨の季節を控え、村民の皆様には健康に留意され、議会の傍聴のお願いとともに、議会広報一同よろしくお願いを致します。

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。

次回議会は、6月7日（月）10時に開会の予定です。
お気軽に傍聴に、
お越しください。

議会広報委員会へのご意見・ご提言を、よろしくお願い申し上げます。



議会広報発行調査特別委員

(前列左より) 矢野副委員長、岡本委員長、横山議長
(後列左より) 事務局・谷口、壬生委員、戸梶委員、森下(芳)委員、事務局・山本